

# 有限会社 耕佑

## ～地域とともに、心の郷(ふるさと)を目指して～

### <基本情報>

所在地：宮城県栗原市

設立：平成10年1月

資本金：9500千円

構成員：役員3名、正社員11人

パート：15名

### <経営概要>

経営面積：1.1 ha (水耕栽培ハウス9棟)

15.0ha (水稲)

主要作物：サンチュ・サラダ菜・ミツバ・ホワイトセロリ  
・ケール・スイスチャード

販売先：仙台市場、イオン、  
大手飲食チェーン(すかいらーくグループ等)

売上額：約1億3千万円(平成28年)水耕栽培分のみ



### <経営改善>

○生産効率の向上

- ・作業ごとに従事時間の標準を設定し、作業動画マニュアルを作成。サンチュの葉の収穫作業では、1時間当たり700枚程度であったものが1,000枚と能率が向上。
- ・マニュアル作成により、新入社員等への教育や配置転換の際の基本的な作業手順が速やかに定着。

○販路の拡大

- ・GLOBALG. A. P. の認証取得を会社パンフレットや名刺に記載することで、商談がスムーズに進み、サンチュの取引先が平成25年は5社であったが、平成29年には、10社に拡大。
- ・首都圏へのサンチュの取引が増加したことがきっかけとなり、平成28年から栗原市内の野菜を集荷し、仙台市や首都圏の飲食店へ直送する卸業も開始。取引先へ継続的に栗原産野菜を提供できるようになり、地元産の農産物の生産・消費拡大に寄与。

### <GAPの取組の状況>



<ミーティングの様子>

- ・自社の経営理念に基づく会社の具体的な行動指針としてGLOBALG. A. P. が活用できると考え、認証を取得。
- ・従業員は、商品を売るためだけでなく、社内の環境整備や作業の安全向上も目的であることを理解し、認証後の実践もスムーズに行われている。
- ・社内の意識統一のため、定期的にGAPに関するミーティングを実施。

平成26年2月 GLOBALG.A.P.青果物 認証取得  
平成29年7月 宮城県GAP推進アドバイザーに就任(専務取締役)

### <GAPの普及に向けた取組>

- ・県内外の農業生産法人からGAP認証に関する相談を受け、親身になって助言指導を行うなど、認証取得の拡大に貢献。
- ・平成17年からJA新任職員を、平成24年から宮城県農業大学の学生を研修生として受入れる他、学校給食への食材提供、食農教育にも継続的に取り組み、生産者のみならず児童や学校関係者にもGAPの普及推進に尽力。



<中学生体験学習>